

I 社会福祉法人 杜の会 事業報告

1) 2017(平成 29)年度事業報告について

2017 年度は法人設立 2 年目を迎え、2025 年問題を見据えながら今春の介護・診療報酬改定に向けての準備の一年となりました。

改定の基本テーマは、介護に係る財源の確保と配分の方法、そして介護の担い手の育成・確保と考えております。したがって、当法人としては、地域において必要とされる事業を検討し、組織体制の構築と人材の育成を追及してきました。

2) 理事会・評議員会等の開催状況

【理事会】

回	開催日	議事内容	
1	H29. 5. 24	報告	1. 2016（平成 28）年度下半期苦情解決状況報告について 2. 稟議書について 3. 社会福祉充実残高算定について
		議決	1. 2016（平成 28）年度事業報告 及び決算・監事監査報告の議決について 2. 2017（平成 29）年 6 月 9 日からの新役員候補者の議決について
2	H29. 6. 9	議決	1. 社会福祉法人杜の会 理事長の互選について
3	H29. 9. 20	報告	1. 2017（平成 29）年 6 月 30 日に登記した登記簿謄本について 2. 2017（平成 29）年 9 月 12 日の社会福祉法人及び介護老人保健施設の指導監査及び実地指導の実施及び 2017（平成 29）年 9 月 29 日の平和の杜居宅介護支援事業所の実地指導について 3. 理事長の職務施行の状況について 4. 平成 29 年度監査計画書について 5. 平成 29 年度社会福祉法人及び介護老人保健施設の指導監査 及び実地指導内容について
		議決	1. 社会福祉法人杜の会 理事会運営規程の制定について 2. 社会福祉法人杜の会 評議員会運営規程の制定について 3. 一般社団法人北海道民間社会福祉事業職員共済会加入者の退職金規程の制定について 4. 退職引当金の計上及び金額について 5. 給与規程の改定について 6. 社会福祉法人杜の会 有償ボランティア費用弁償規程の制定について 7. 決算書類の一部追加について
4	H29. 12. 6	報告	1. 社会福祉法人及び介護老人保健施設の指導監査及び実地指導結果と指導事項改善報告書について 2. 平和の杜居宅介護支援事業所の実地指導結果について 3. 理事長の職務の施行の状況について 4. グループホーム福井倶楽部の浴室改修 及び談話室増築工事等について
		議決	1. 社会福祉法人杜の会 規程管理規程の制定について 2. 給与規程の改定について

			3. 育児介護休業規程の改定施行について 4. 就業規則の改定施行について 5. 退職金規程の改定施行について
5	H30. 2. 23	報告	1. 理事長の職務の執行の状況について 2. 職員採用について 3. グループホーム福井倶楽部 基本財産の登記変更について
		議決	1. 2017（平成 29）年度最終補正予算について 2. 2018（平成 30）年度当初予算及び事業計画について 3. 経理規程の改定施行について 4. 統括責任者、施設長、副施設長（顧問）との雇用契約について 5. 管理職（2名）の号棒について

【評議員会】

回	開催日	議事内容	
1	H29. 6. 9	報告	1. 2016（平成 28）年度下半期苦情解決状況報告について 2. 理事長の職務の執行の状況について 3. 社会福祉充実残高算定について
		議決	1. 2016（平成 28）年度事業報告 及び決算・監事監査報告の承認について 2. 2017（平成 29）年度の社会福祉法人杜の会 役員・評議員等に対する費用弁償規程の承認について 3. 2017（平成 29）年 6 月 9 日からの新役員選任について

【第三者委員への報告】

回	開催日	議事内容	
1	H29. 11. 15	報告	1. 平成 29 年度上半期における苦情解決状況

3) 法人内各事業所の概況…別紙

- Ⅱ… (1) 介護老人保健施設平和の杜 入所
(2) 通所リハビリテーション
(3) 平和の杜居宅介護支援事業所
- Ⅲ… グループホーム福井倶楽部

4) 行政監査の実施

- ①平成 29 年 9 月 12 日 社会福祉法人及び介護老人保健施設の指導監査及び実地指導の実施
- ②平成 29 年 9 月 29 日 平和の杜居宅介護支援事業所の実地指導の実施

5) その他

- 2017（平成 29）年 8 月…第 1 回 杜の会夏祭り 開催
- 2017（平成 29）年 11 月…平和の杜 自立看板改修工事実施
- 2017（平成 29）年 11 月…グループホーム福井倶楽部 談話室増築工事実施
- 2017（平成 29）年 11 月…グループホーム福井倶楽部 浴室改修工事実施

Ⅱ 介護老人保健施設 平和の杜

(1) 介護老人保健施設 平和の杜

1) 2017(平成 29)年度事業報告について

2016年10月1日に新法人にて事業を開始した時に、介護を必要とする利用者と、利用者家族の期待に応える看護・介護・リハビリを提供するという思いで今年度も職員一丸となり支援を行ってまいりました。同時に、昨年同様に2018年度の介護報酬改定を視野に入れながら、看護・介護・リハビリスタッフ等の多職種連携により、老健の使命である在宅復帰を今まで以上に意識し、利用者様へのサービス提供を行いました。

2) 平和の杜の概況

① 職員配置

2018年3月末現在

	施設長	支援専門員	支援相談員	看護職員	介護職員	管理栄養士	リハビリ	事務員	施設管理
定数	1	1	1	8	19	1	1	0	0
配置数	1	2	2	12	33	1	7	4	4

※医師は施設長、 医師・管理栄養士・リハビリ・事務員・施設管理は通所リハも兼務

② 利用者の状況

a. 利用者定員 80名（一般棟40名・認知症専門棟40名）

b. 月平均の入居者数

2018年3月末現在

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
78.8	77.5	78.6	77.5	78.5	75.8	74.7	75.7	75.4	74.4	75.9	77.8	76.9

c. 利用者の年齢構成

2018年3月末現在

	65才未満	65~69	70~79	80~89	90才以上	平均年齢
男性	1	1	7	12	7	82.8
女性	1	0	9	23	15	85.5
合計	2	1	16	35	22	84.5

d. 利用者の介護度

2018年3月末現在

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
2018.3.31	20	20	11	19	6	3.01

3) 事業内容

① 利用者援助、施設サービス計画

a. 在宅復帰・在宅支援

今年度も昨年度同様に利用者・家族の理解・協力のもと在宅復帰率30%以上（平均52.03%、昨年度50.50%）を維持し、年間で54名（昨年度53名）の利用者が在宅復帰をしました。また在宅復帰された方のショートステイ利用についても、関係事業所（居宅介護支援事業所等）と連携しながら実施できました。現在入所中の軽度要介護者についても安心して自分らしく地域で生活して頂けるよう、利用者・家族の意向を確認しながら、継続して在宅復帰への支援をしていきます。重度要介護者については、特別養護老人ホーム等の終の棲家で生活できる期間までの長期療養支援、その中で必要となった方へはターミナルケアの提供等の支援をしていきたいと考えます。

b. リハビリ

リハビリテーション実施状況は、短期集中リハビリテーション(2,583件)や個別リハビリテーション(ショートステイ985件)の充実した対応に加えて、認知症の利用者への関わり方を評価・実施する認知症短期集中リハビリテーション(359件)にも取り組みました。また、土曜日も1名以上のリハビリ職員を配置し、対応できるようにしました。その他、内部研修の開催や他施設への講師派遣を行い、職員への技術的指導を行いました。

今後も、提供するリハビリの量だけではなく、その質も向上が図れるように次年度への維持そして更なる向上に取り組めます。その他、次年度より作業療法士が欠員となりますが、リハビリテーション職員が協働して支援するよう努めます。

c. 健康管理

ア 健康の維持増進

2012年度の介護報酬の改定で新設され、肺炎・尿路感染・帯状疱疹を発症し施設内で治療を行った場合に算定可能な所定疾患施設療養費を活用し、2017年度も前年度同様肺炎・尿路感染の発症・重症化予防に重点を置きました。

当施設における2017年度、所定疾患別施設療養費算定状況は下記の通りです。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
尿路感染	算定人数	0	0	0	0	0	0	0	1	0
肺炎	算定人数	0	2	1	2	0	1	3	2	3

1月	2月	3月	合計
0	1	0	2
3	5	3	25

当施設は在宅復帰支援に重点を置いています。長期療養となっている利用者も多く長期利用者には定期的に採血を施行、また必要時採血以外に施設内で可能な検査等異常の早期発見に努めています。施設長が診察し医療機関での治療が必要と判断した場合にはご家族様へ適切な場所での療養を適宜提案しており、今後も継続が必要と考えます。

また、今年度は2名の利用者に対し、施設でのターミナルケアを行いました。老健の使命は在宅復帰に向けてリハビリを行うことですが、多死社会と言われる近年は老健にもターミナルケアの提供が求められています。次年度も、施設でのターミナルケアを希望され医師が可能と判断をした場合は、ターミナルケアを行います。

イ 感染対策

感染対策委員が中心となり、職員へ内部研修やラウンドを通して正しい感染予防策の周知・徹底に努めました。今年度、4名の利用者がインフルエンザを発症しましたが、早期検査・診断・治療により感染拡大を予防できました。また、ノロウイルス感染はありませんでした。次年度もインフルエンザワクチン予防接種率を維持し、インフルエンザの感染予防・感染拡大に努めます。その他の感染症についても流行状況を把握し、利用者の感染予防に努めます。

ウ 褥瘡対策

褥瘡を作らない「予防」に重点をおき、褥瘡有病者に対しては医師・看護職員が中心となり施設内での早期治癒を目指し治療を行い、有病者全員が施設内で治癒しましたが褥瘡有病率平均2.50%で、前年度の1.53%、全国の老健の2.20%（2010年度）

を上回ってしまいました。次年度も、多職種が連携し栄養面等様々な視点から褥瘡予防・治療に対する意識を高く持つことができるよう、褥瘡対策委員会を中心に研修会を企画する等活発な活動を行います。

d. 倫理的課題の取り組み

2015 年度の接遇・倫理委員会の取り組みとして、接遇・マナーマニュアルの改定、抑制廃止マニュアルの改定と再周知及びグループワーク形式の内部研修等を昨年度に引き続き行いました。日頃の業務ではつい忘れてしまいがちな自分の接遇の事や他の職員の良い所等を改めて振り返る機会を提供することができました。

e. 食事

生活の楽しみである「食べること」が、利用者自身で行えるように援助を行いました。摂食・嚥下機能に障害がある場合には、医師、言語聴覚士、管理栄養士など多職種が協力し、美味しく安全な食事摂取ができるように栄養管理を行います。また、利用者の疾患を考慮し、健康の維持・増進がはかれるよう、適切な療養食をこれからも提供していきます。

f. 施設サービス計画の作成、変更

2017 年度は在宅復帰、長期療養を目標として利用される方とご家族のニーズに合わせた計画を他職種協働で作成することができました。次年度も利用者のニーズに合わせた計画を作成し、在宅復帰支援や長期療養支援の目標が達成できるように支援します。

②継続教育

教育系の企画・運営のもと下記研修を実施しました。研修内容や実施回数は介護保険法や札幌市からの指導により計画したもので、次年度も継続して行います。

a. 外部研修

研修期間	研修会名	参加職種	人数
4/16	半側空間無視・失行の神経メカニズム	リハ職員	1名
5/11	認知症介護研修会	介護職員	1名
5/13	コンチネンス教室排泄ケアについて	介護職員	2名
5/22	看取りケア研修実践会	看護・ 介護職員	2名
5/29	リーダー向け接遇マナー指導セミナー	介護職員他	6名
6/3～6/4	下肢運動機能障害に対する臨床推論	リハ職員	1名
6/16	認知症介護基礎研修	介護職員	1名
6/21	報告・指示の仕方・受け方研修	介護職員他	5名
7/5	チームで取り組む褥瘡対策・感染対策	介護職員	2名
7/6	若年性認知症～本人が語る思い	顧問他	2名
7/9	サインの真意を見抜け！急変症状とバイタルサイン	看護職員	1名
7/10	できるナースの医療接遇	看護職員他	3名
7/11	ストレスチェック活用法まるわかりセミナー	相談員	1名
7/22	第11回北海道コンチネンス初級セミナーイン札幌	看護職員	2名
7/30	職業性腰痛予防講師育成研修会	リハ職員	1名
8/27	日本人のための肩関節、頸部機能障害に対するこれからの理学療法	リハ職員	1名
8/28	平成29年北海道高齢者虐待防止推進研究会基礎編	介護職員	1名
9/2～9/6	介護予防運動指導員養成講座	介護職員	1名

9/8	姿勢と歩行に認知知覚的制御	リハ職員	1名
9/9	管理職に求められる対人スキルとほすびたりてい	介護職員	1名
9/11	介護現場におけるリスク管理と報連相の徹底	介護職員	1名
9/14	会計セミナー入門編（社会福祉法人）	事務職員	1名
9/16	急変時の介護医学	介護職員	3名
9/26	初級心電図セミナー・モニター判読&対応の仕方	介護職員	2名
10/2	北海道認知症グループホーム協会入会	顧問他	2名
10/2	認知症 キャリアパス研修会	顧問他	2名
10/4	お悩み解決これのできる機能訓練の計画とその実践	リハ職員	1名
10/6	介護・口腔ケアセミナー	相談員	1名
10/7～10/22	介護福祉士実習指導者講習会	介護職員	1名
10/14	歩行のバイオメカニクスセミナー	リハ職員	1名
10/14	平成30年度診療報酬介護報酬同時セミナー	事務職員	2名
10/16	医療連携に必要な基礎知識研修会	介護職員	1名
10/16	社会福祉士実践の基礎を学ぶ（第1回集合研修）	支援相談員	1名
10/17	感染症の予防及び発生時の対応基礎研修	顧問補佐	1名
10/26	認知症スキルアップ研修	顧問	1名
11/3	分類に基づく腰痛の理学療法	リハ職員	1名
11/7	社会福祉法人経営労務管理セミナー	事務職員	2名
11/4	認知症緩和ケアとタクティールケア	顧問	1名
11/9	職員育成技術研修	介護職員	1名
11/10～11/11	北海道老健施設大会	看護・ 介護職員	3名
11/12	終活ガイド	顧問補佐	1名
11/18～12/3	介護福祉士実習指導者講習会	介護職員	1名
11/18	腰椎運動系機能障害症候群のマネジメント	リハ職員	1名
11/18	コンチネンス初級セミナー・フォローアップセミナー	看護職員	2名
11/25～11/26	2017 前期初任者研修会	相談員	1名
11/26	認知症介護基礎研修	顧問・補佐	2名
11/27	会計セミナー実務編（社会福祉法人）	事務職員	1名
12/7	北海道高齢者虐待防止推進研修会施設編	相談員	1名
12/16	利用者の転倒・褥瘡・拘縮予防研修会	リハ職員	1名
12/18	高齢者の権利擁護を考える会	相談員	1名
2/3	老健ソーシャルワーカーセミナー	相談員	1名
2/24	社会福祉実践の基礎を学ぶ（第2回集合研修）	相談員	1名
3/16	地域包括ケアシステムの実践に向けて	顧問・ 相談員	2名
3/24	日本感染管理ベストプラクティス	顧問	1名

b. 内部研修

研修期間	研修会名	参加職種	人数
4/18. 24. 27	平成29年度 事業計画	全職種	48名
5/19. 25	倫理及び法令順守について	全職種	48名
5/24. 6/9	褥瘡予防について*新人職員対象	看護介護	3名

7/24. 27	食中毒予防について	全職種	37名
8/17. 21	ストレスチェックについて	全職種	37名
9/22. 26. 29	災害発生時の対応について	全職種	45名
10/17. 20. 23	緊急時の対応について	全職種	39名
11/20. 24. 28	事故・ひやりはっと～集計と傾向について～	全職種	32名
12/11. 18	ノロウイルスについて	全職種	15名
1/22. 25. 30	接遇について	全職種	37名
2/19. 23. 28	法律でひもとく介護事故 予防研修	全職種	31名
3/22. 27	褥瘡・拘縮予防について	全職種	21名

※内部研修については通所、居宅、福井倶楽部合同参加

③地域との連携計画

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| ア 「杜のこえ」の発行（毎月） | イ 病院・居宅介護事業所との連携 |
| ウ ボランティアの拡充 | エ 夏祭りを実施し地域の方の参加の呼びかけ |
| オ 専門学校（介護）への講師 | |

④事故予防対策

今年度の事故報告は57件（前年度58件）あり、入院が必要となった重大事故は7件（前年度7件）、うち転倒による頭部打撲の死亡事故が1件ありました。次年度は事故原因の詳細な分析、早急かつ利用者の個別性を考慮した対策立案を行い、転倒による受傷、重大事故を予防していきます。

⑤実習の受け入れ

2017年度は2校 9名の介護福祉士専門学校の実習生の受け入れを行いました。介護職員は2025年までに約250万人が必要と言われ、専門職の育成も老健の果たすべき役割と考え次年度も引き続き取り組みます。

a. 介護福祉士養成課程実習

実習期間	学校名	人数
6/12～6/30、10/10～10/27、11/6～11/24 1/22～2/9	札幌医療秘書福祉専門学校	計7名
6/23～7/28	北海道福祉大学校	計2名

b. その他の実習

- ・青葉学園 北海道看護専門学校 2年生 老年看護学実習Ⅰ
8/21～9/7 11/13～11/30 各2名 計4名
- ・西野学園 札幌医学技術福祉歯科専門学校 理学療法学科 2年生 評価体験実習
11/24～12/9 3/1～3/16 計2名
- ・西野学園 札幌医学技術福祉歯科専門学校 理学療法学科 3年生 評価実習
9/7～10/2 計1名

⑥人財確保

介護福祉士専門学校の定員割れが続く中、介護福祉士の需要は今後ますます高まると思われます。今後も介護福祉士養成校と連携を取り、実習生やボランティア等の受け入れを積極的に行い、平和の杜が就職の場所として選ばれるような施設を常に目指して行きます。

⑦防災対策の充実

防火（避難）訓練を2回（防災協会立会1回）実施しました。
 定期の消防設備点検を実施しました。

⑧苦情解決状況

第三者委員への申し立てはありませんでした。

第三者委員には、下記の内容について定期報告をしました。

a. 【苦情受付状況】

項 目	件数
苦情受付数	0
うち 未解決件数	0
第三者委員への通知	0

b. 【相談の分類】

項 目	件数
a ケアの内容に関わる事項	0
b 個人の嗜好・選択に関わる事項	0
c 財産管理・遺言・遺産等に関わる事項	0
d 制度・試策・法律に関わる要望	0
e その他	0

c. 【苦情の想定原因】

項 目	件数
a 説明・情報不足	0
b 職員の態度	0
c サービス内容	0
d サービス量	0
e 権利侵害	0
f その他（ ）	0

⑨各種会議・委員会実施状況

会 議 等	実績	委 員 会 等	実績
運営会議	12回	感染対策委員会	12回
給食会議	12回	褥瘡対策委員会	12回
入所判定会議	51回	事故予防委員会	77回
サービス担当者会議	160回	事故対策委員会	38回
入所会議	12回	接遇向上委員会	12回
行事会議	12回	看護業務改善委員会	12回
		介護業務改善委員会	12回

⑩行事等実施状況

4月	小さなお茶会 春のお茶会	10月	秋の味覚 秋の大運動会！
5月	春の大運動会 皆で楽しく手打ちうどん	11月	たこ焼きパーティー 鍋の会
6月	初夏のランチピクニック アイスの会	12月	クリスマス会
7月	初夏のランチピクニック 杜の夏休み	1月	新年のお茶会 もちつき大会
8月	夏祭り	2月	生チョコレート作り 歌声喫茶
9月	敬老会	3月	ちらし寿司作り ひな祭り

4) 成果と反省・課題・まとめ

2017年度は、在宅復帰率も着実に伸びてきましたが、入所者、利用者増を継続すべく対策だけでなく、多方面での細かい反省を踏まえて、更なる向上を職員一同で目指していきます。

(2)介護老人保健施設 通所リハビリテーション

1)2017(平成 29)年度事業報告について

昨年度同様、リハビリや運動を中心としたサービス提供に努めて、個々のニーズに寄り添い運動メニューを提案・実施・評価等を行ってまいりました。ご利用者の方々に意欲を持って取り組んで頂いていましたが、結果としてリハビリや運動の効果がご自身で実感するまでに至らなかったことが、利用者数減少の要因になったと痛感しています。新規ご利用者の方々も利用目的を明確にされているため、満足度を高めることが出来なければ、継続的な利用にならない現状を受け止め、次年度にはサービス内容全体を見直し、より充実したサービスを提供できるよう努める所存です。

2)通所リハビリテーションの概況

① 職員配置

2018年3月末現在

	施設長	支援相談員	看護職員	介護職員	管理栄養士	リハビリ	事務員	施設管理
定数	(1)	0	0	4	(1)	(1)	0	0
配置数	(1)	(1)	1	8	(1)	5	(4)	(4)

()は兼務

②利用者の状況

a. 利用者定員 40名(要支援者含む)

b. 月平均の利用者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
24.2	25.2	24.7	23.0	22.9	23.1	25.7	26.1	25.1	23.3	25.5	25.9	24.6

・昨年度の平均は24.5名でした。

c. 利用者の年齢構成

2018年3月末現在

	65未満	65~69	70~79	80~89	90才以上	合計
男性	4	7	15	24	7	57
女性	1	0	5	6	9	21
合計	5	7	20	30	16	78

d. 利用者の介護度

2018年3月末現在

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要支援1	要支援2	合計
29	16	7	0	1	13	12	78

3)事業内容

①処遇・援助

a. 通所リハビリテーションサービス

ア 通所リハビリテーション計画書

新規ご利用者については、利用開始前の担当者会議に参加し、ご本人・ご家族へ生活習慣や要望・目標等を聞き取り、カンファレンスにてケアスタッフ全員で情報共有し、個別性の高い計画書作成に努めました。継続利用の方についても、利用中に日常生活上、不便に感じていることなどを確認しながら、生活の質を向上できる内容の経計画作成に努めました。計画書の内容は誰が見ても理解できるものにする為、専門用語な

どは出来るだけ使用しないように心がけました。

b. 食事

食事前の嚥下体操を毎回実施し、よりおいしく・より安全に食事を摂取してもらえよう努めました。個々の嚥下状況・嗜好・摂取状況等の把握に努め、その方に適した食事形態・食事を提供するなど、ご利用者の方と共に検討・変更・評価を行うようにしました。

c. 入浴

「安全で快適な入浴」を目標として、個人の身体機能・残存機能を把握し過剰介助の廃止、職員間で統一した支援、適切な介助・見守り等を提供できるよう取り組みました。

d. 排泄等

同性介助を基本として羞恥心に十分配慮できる体制を整えていました。また、よりきれいな環境で排泄していただくため、トイレ内の定期点検を実施しました。

e. 健康管理

日々のバイタルチェックや全身状態の観察・確認、必要時には家族や主治医と連絡を取り合うなど健康管理に努めました。また手洗い・うがいを強化し、感染症予防への取り組みを行うと同時に、食中毒発生時期やインフルエンザ流行時期等は、早い時期から予防策を掲示板へ張り出したほか、自宅から食べ物を持ち込むことをご遠慮いただくなど予防対策を継続的に行いました。

f. リハビリテーションの充実

理学療法士や言語聴覚士を中心に、より個々の身体状況や嚥下機能・失語や構音障害等の状態に合ったリハビリを提供しました。必要時には家屋調査やご家族へ生活状況の聞き取りや、生活上の助言・指導なども実施しました。

g. 身体的拘束の禁止の徹底

定期的に職員間で身体拘束マニュアルを確認し、身体拘束に対する意識を高めるように取り組んできました。

h. 各種会議・委員会

会議等	実績	委員会等	実績
通所会議	10回	事故予防委員会	96回
業務改善会議	10回	感染対策委員会	12回
接遇向上委員会	12回		

i. 行事等実施状況

行事		行事	
クイズ王決定戦	4/17～4/21	ビンゴ大会	10/16～10/20
春の感謝祭	5/15～5/19	鍋パーティー	11/20～11/24
個別お食事会	6/28～7/27	忘年会	12/19～12/21
夏祭り	8/6	新年ビンゴ大会	1/1～1/2
納涼かき氷大会	8/7～8/12	ほっとカフェ	2/12～2/16
敬老会	9/20～9/22	焼きそばパーティー	3/18～3/23

② 職員研修

研修期間	研修会名	参加職種	人数
4/18.24.27	平成29年度 事業計画	全職種	48名
5/19.25	倫理及び法令順守について	全職種	48名

7/24. 27	食中毒予防について	全職種	37名
8/17. 21	ストレスチェックについて	全職種	37名
9/22. 26. 29	災害発生時の対応について	全職種	45名
10/17. 20. 23	緊急時の対応について	全職種	39名
11/20. 24. 28	事故・ひやりはっと～集計と傾向について～	全職種	32名
12/11. 18	ノロウイルスについて	全職種	15名
1/22. 25. 30	接遇について	全職種	37名
2/19. 23. 28	法律でひもとく介護事故 予防研修	全職種	31名
3/22. 27	褥瘡・拘縮予防について	全職種	21名

※内部研修については入所、居宅、福井倶楽部合同参加

③苦情解決状況

第三者委員への申し立てはありませんでした。

第三者委員には、下記の内容について定期報告をしました。

【苦情受付状況】

項 目	件数
苦情受付数	0
うち 未解決件数	0
第三者委員への通知	0

【相談の分類】

項 目	件数
a ケアの内容に関わる事項	0
b 個人の嗜好・選択に関わる事項	0
c 財産管理・遺言・遺産等に関わる事項	0
d 制度・試策・法律に関わる要望	0
e その他 ()	0

【苦情の想定原因】

項 目	件数
a 説明・情報不足	0
b 職員の態度	0
c サービス内容	0
d サービス量	0
e 権利侵害	0
f その他 ()	0

④防災対策の充実

防火（避難）訓練を2回（防災協会立会1回）実施しました。

定期的な消防設備点検を実施しました。

4) 成果と反省・課題・まとめ

今年度につきましては、月延利用者数 650 名という目標については達成することができませんでした。これまでに経験のないほど、ご利用者の出入りが多い年度でした。長期療養が必要になる方なども多くいらっしゃいましたが、利用に対して十分な満足度が得られないことによる利用中止者も目立ったことから、次年度はサービス内容全体を見直し、より質の高いサービス提供に努める所存です。

(3) 平和の杜居宅介護支援事業所

1) 2017(平成 29)年度事業報告について

利用者の生活ニーズを把握することで介護サービスだけではなく生活全般の支援を提案できるように職員一同自己研鑽を積み仕事に従事し、目標としていた収入も達成できました。利用者がいつまでも地域で在宅生活が送れるように自立支援を意識して支援をさせて頂きました。

2) 平和の杜居宅介護支援事業所の概況

①職員配置数

2018年3月末現在

職 種	管 理 者	介護支援専門員
定 数	(1)	(1)
配 置 数	(1)	5(2)

()は兼務

②利用者の状況

a. 要介護（国民健康保険連合会請求分）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
154	160	163	156	155	156	149	157	151	156	154	151	1862

b. 要支援（地域包括支援センター請求分）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
36	38	38	39	37	38	40	40	40	39	36	34	455件

③相談援助

訪問相談件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
163	170	173	166	164	165	160	168	161	166	165	160	1981

④その他（年間件数）

a. 認定手続代行者数	b. 新規契約者数	c. 契約満了者
平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月分	145件	55件
		36件

※ b・c は介護予防者を除く

e. 利用者紹介元

H29年4月～H30年3月

利用者の紹介元	件数
病院	9件
地域包括支援センター	26件
介護施設	5件
居宅介護支援事業所	3件
家族	4件
要支援→要介護	6件
その他	2件
合計	55件

f. 利用者の移行先

H29年4月～H30年3月

利用者の移行先	件数
病院	8件
介護施設	6件
サ高住等	3件
死亡	8件
要介護→要支援	4件
その他	7件
合計	36件

⑤ 苦情解決状況

第三者委員への申し立てはありませんでした。

第三者委員には、下記の内容について定期報告をしました。

a. 【苦情受付状況】

項 目	件数
苦情受付数	1
うち 未解決件数	0
第三者委員への通知	0

b. 【相談の分類】

項 目	件数
a ケアの内容に関わる事項	1
b 個人の嗜好・選択に関わる事項	0
c 財産管理・遺言・遺産等に関わる事項	0
d 制度・試策・法律に関わる要望	0
e その他（説明不足・連絡の行き違い）	0

c. 【苦情の想定原因】

項 目	件数
a 説明・情報不足	1
b 職員の態度	0
c サービス内容	0
d サービス量	0
e 権利侵害	0
f その他（ ）	0

3) 職員研修等

a. 内部研修

研修期間	研修会名	参加職種	人数
4/18. 24. 27	平成29年度 事業計画	全職種	48名
5/19. 25	倫理及び法令順守について	全職種	48名
7/24. 27	食中毒予防について	全職種	37名
8/17. 21	ストレスチェックについて	全職種	37名
9/22. 26. 29	災害発生時の対応について	全職種	45名
10/17. 20. 23	緊急時の対応について	全職種	39名
11/20. 24. 28	事故・ひやりはっと～集計と傾向について～	全職種	32名
12/11. 18	ノロウイルスについて	全職種	15名
1/22. 25. 30	接遇について	全職種	37名
2/19. 23. 28	法律でひもどく介護事故 予防研修	全職種	31名
3/22. 27	褥瘡・拘縮予防について	全職種	21名

※内部研修については入所、通所、福井倶楽部合同参加

b. 外部研修

日時	研修会名	場 所	出席 職員
H29/5/11	「認知症介護研修会」	札幌市男女共同参画センター	1名
H29/5/18	「ここが知りたい 暫定ケアプラン」	北区民センター3階	2名
H29/11/1 ~2	初人介護支援専門員OJT事業アドバイザー研修	かでの2・7	1名
H29/12/13	札幌市西区ケアマネジメント能力向上研修会の開催について	ちえりあ	4名

その他、介護支援専門員連絡協議会西区支部研修会参加。年3回
(西区民センター他)

4) 成果と反省・課題・まとめ

本年度は9月に札幌市の実地指導がありました。特別大きな指摘事項もなく評価いただけたいと思います。現状に満足することなく利用者支援の質を上げるべく職員一同仕事に励みます。

Ⅲ グループホーム 福井倶楽部

1) 2017（平成 29）年度事業報告について

今年度は利用者の入れ替わりが数名あり、身体機能、認知能力の低下やレベルの差が顕著となりました。その様な状況の中でも家庭的な雰囲気を重視し、地域のお店を利用したり、町内会やホームの行事、外出等を含めそれぞれのニーズに合った対応が出来ました。

今後も全職員が随時柔軟に新たな取り組みを実践し良質なサービス提供に努めます。

2) 福井倶楽部の概況

①配置職員

2018年3月末現在

	管 理 者	計画作成担当者	介 護 職 員	看 護 職 員
定 数	(1)	1	3	(1)
配 置 数	(1)	(1)	7 (2)	1

*管理者は介護員を兼務。*計画作成担当者は介護員を兼務。*（ ）は兼務者の人数。

②利用者の状況

a. 利用者定員 9名

b. 入・退所状況 (直近3ヶ月)

	1月	2月	3月
入 居 者	0	0	1
退 居 者	0	0	1

c. 利用者の介護度内訳

2018年3月末現在

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
2	2	4	1	0

3) 事業内容

①地域とのかかわり

地域のお店を利用させて頂いたり町内会の回覧板にホームの広報誌を入れて頂き地域の中のグループホームという位置づけを定着してもらえよう活動する事が出来ました。

②サービス

個別性とストレスのない穏やかな生活をテーマにサービスを提供しており、明るく家庭的な雰囲気で寄り添う介護が出来たと思います。

③事故報告

転倒1件、離脱1件、誤薬6件ありました。

④職員研修

介護リーダー向け接遇指導セミナー 1名・生活リハビリ研修 1名

認知症高齢者とのコミュニケーション力の向上研修 1名

認知症ケア実践研究大会 1名・介護口腔ケアセミナー 1名

介護職の為の接遇マナー講習 1名

炎上させない苦情・クレームトラベル対応研修 1名

平和の杜内部研修には、毎月参加しホーム内で研修報告を行っています。

研修期間	研修会名	参加職種	人数
4/18.24.27	平成29年度 事業計画	全職種	48名

5/19.25	倫理及び法令順守について	全職種	48名
7/24.27	食中毒予防について	全職種	37名
8/17.21	ストレスチェックについて	全職種	37名
9/22.26.29	災害発生時の対応について	全職種	45名
10/17.20.23	緊急時の対応について	全職種	39名
11/20.24.28	事故・ひやりはっと～集計と傾向について～	全職種	32名
12/11.18	ノロウイルスについて	全職種	15名
1/22.25.30	接遇について	全職種	37名
2/19.23.28	法律でひもどく介護事故 予防研修	全職種	31名
3/22.27	褥瘡・拘縮予防について	全職種	21名

※内部研修については入所、通所、居宅合同参加

⑤苦情解決の状況

- ・苦情の申し立てはありませんでした。
- ・第三者委員には、定期報告をしました。

a. 【苦情受付状況】

項 目	件数
苦情受付数	0
うち 未解決件数	0
第三者委員への通知	0

b. 【相談の分類】

項 目	件数
a ケアの内容に関わる事項	0
b 個人の嗜好・選択に関わる事項	0
c 財産管理・遺言・遺産等に関わる事項	0
d 制度・試策・法律に関わる要望	0
e その他	0

c. 【苦情の想定原因】

項 目	件数
a 説明・情報不足	0
b 職員の態度	0
c サービス内容	0
d サービス量	0
e 権利侵害	0
f その他 ()	0

⑥外部評価の実施

2017（平成29）年12月13日に福祉サービス評価機構Kネットにより実施しました。

4) 成果と反省・課題・まとめ

利用者の身体機能や認知能力の低下による転倒、職員が確認を怠ったことによる誤薬等の事故がありました。今後は随時利用者それぞれの身体機能レベルの確認、情報の共有を密に行い、介護老人保健施設平和の杜の理学療法士等の協力のもと、レベルに合ったリハビリを取り入れサービス提供に努めます。

また、職員一人ひとりが自己の予防に努め、利用者皆様が地域の中で安心して過ごせるグループホームを目指します。